

# 甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報  
Vol.12 平成16年1月1日発行 第4巻第3号(通巻第12号)

## Vol.12



### 『新年のご挨拶』

社団法人 甘木朝倉医師会  
会長 和田 治彦

新年明けましておめでとうございます。

甘木朝倉介護保険事業者協議会の会員の皆様方におかれましては、穏やかな新春と、希望に満ちた一年の幕開けを迎えられたこととお慶び申し上げます。

2000年4月に介護保険制度が始まって今年で5年目を迎えようとしています。施行当初は様々な問題点も指摘されましたが、昨年4月の改正を経て、いろいろの意見はあるものの一応の評価とともに定着を見た感があります。この甘木朝倉介護保険事業者協議会には、135の福祉関係の事業所が加入されておりますが、その中における当医師会関連の事業所数は68にのぼり、医療と福祉の整合性を図る為に種々活動していただいているところであります。医療と福祉はご周知のとおり公共性が不可欠です。当医師会は事業目的の中に「医道の昂揚、医学技術の発展普及と公衆衛生の向上とを図り、もって社会福祉の増進に寄与する」とあり、医師会の事業を通して如何に地域社会に貢献し利益を還元できるか模索しているところであります。当地域においては135の福祉関係の事業所があるわけですから、それら事業所が切磋琢磨し、自己の利潤追求を捨て、サービス事業として住民の信頼や期待に十分に応えうる、

質の高いサービスを如何に提供していくかが非常に重要なことではなかろうかと思えます。

来る2005年の4月には制度自体の見直しが予定されており、すでにそれに向けての検討が進んでおります。今後の介護保険の目指す方向として 1. 介護予防リハビリテーションの充実 2. 小規模、多機能サービスの拠点 3. 地域包括システムの確立 4. 痴呆性高齢者ケア 5. サービスの質の確保と向上がキーワードとして検討されており、刻々と移り変わる制度にいかに迅速に対応できるかが、サービス業者として生き残っていくうえでの課題と考えます。

今後、地域住民の介護に対するニーズは益々高まるばかりです。貴協議会は13の専門部会を持ち、それぞれの部会が勉強会・研修会等開催され地域住民の期待に応える為、種々御努力いただいております。また、それぞれの業種間の連携がスムーズにとれており、更に情報交換も活発に行われ、非常に心強いかがりです。

蓮池年民会長の下、貴協議会会員が一致団結され、今後益々のご活躍と貴会のご発展を切に祈念いたしまして簡単ではありますが年頭の挨拶と致します。

## 新年のご挨拶



平成14度から甘木朝倉歯科医師会の会長職を引き受けています。今回は甘木朝倉介護保険事業者協議会第12号ー平成16年新年号の発刊ということでお祝い申し上げます。甘木朝倉介護保険事業者協議会は平成12年に発足し、もうすでに4年を過ぎているわけですが、その間には種々の障害や難問題も存在したと思います。今年度にはグループホーム部会も発足し参加事業者も増加していることは喜ばしいことだと思います。

私たち甘木朝倉歯科医師会には未だに介護保険事業者となった会員がありません。しかし、日本歯科医師会では8020運動を強力に推進しています。これは80歳で20本以上の自分の歯を保持しようというものです。こ

### 社団法人 甘木朝倉歯科医師会 会長 古賀 洋海

れからの高齢者社会においては、特に寝たきりの人たちに於ける歯そして口を清潔にし、良くかめるようにすることが嚥下性肺炎はゆうに及ばず、嚙むということと痴呆の予防など、ますます重要な課題としても取り上げられて来ています。私たち甘木朝倉歯科医師会は今後とも協力体制をとり努力をつづけていきたいと思っています。最後に甘木朝倉介護保険事業者協議会の今後の益々の発展と、ご活躍を祈念いたしまして挨拶と致します。



新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、2004年の初春を健やかにお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。  
平成15年4月から甘木朝倉薬剤師会の会長をつとめております浅尾でございます。現在薬剤師会では、会員数はA会員50名・B会員15名でケアマネジャーの有資格者も数名折られますが、介護保険制度化では居宅療養管理指導がもっぱらで、なかなか皆様方と連携を取る機会がないのが現状です。しかし制度の趣旨は、良質な介護サービスを提供していくことであり、それには、主治医の先生をはじめ、ケアマネジャー・各事業所の方々と密接な連携を取ることが不可欠で、私ども薬剤師会といたしましても何とかお力になりたいと考えているところです。昨年は「在宅での薬の管理と薬剤師」のテーマを

### 甘木朝倉薬剤師会 会長 浅尾 芳人

スタッフセミナーに取り上げていただきましたが、今後もこのような活動を続けて参りたいと考えております。

薬剤師による居宅療養管理指導の現状は、数あるサービスの中で一番認知が低く利用されていないサービスです。そのため、利用者の方々は勿論、計画を立てるケアマネジャーやサービス担当のヘルパーさん・看護師さんたちに、もっと必要性をアピールしていかなければなりません。薬の管理も訪問看護で行うことが多いようです。薬剤師の機能を生かしたサービスの確立を目指すべきでしょう。

来年は制度の根本的な見直しが行われます。利用者本位の改正であることを切に望んでおります。最後になりましたが、本協議会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心より申し上げ挨拶といたします。

## 第2回スタッフセミナー

# 「リスクマネジメントへの取り組みとその対策」

去る、11月26日午後6時30分より三輪町のとらいあんぐる三輪において平成15年度第2回甘木朝倉介護保険事業者協議会スタッフセミナーが開催されました。

講師として(株)アステムCS開発部コンサルティング室主任 原田英夫氏をお招きして「リスクマネジメントへの取り組みとその対策」をテーマに講義をいただきました。当日は約150名の参加者がありリスクマネジメントへの会員の皆さんの関心の高さがうかがえました。今回のスタッフセミナーは介護支援専門員圏域別現任研修を兼ねており、朝倉保健福祉環境事務所と共催で行いました。司会進行を朝倉記念病院ケアプランサービス渡邊てるか氏に行っていただき、講義の前に当協議会蓮池会長より挨拶があり、共催者として朝倉保健福祉環境事務所高齢者・児童家庭係長の辻いちえ氏より共催者のご挨拶をいただきました。

講義の中で講師の先生は、最初にいままでの知識、経験を見直して聞いていただきたいと言われ、リスクマネジメントは本来のあるべき姿にたどり着くための現状のギャップを埋めるものとも言われました。インシデントレポートについては、どの施設も最初はないが、出せる工夫をすれば問題点の共有化ができ事故の予防ができる。しかし、インシデントレポートだけ出しても原因を追究しなければ何もならないといわれました。管理する側も処罰をする責任指向ではなく、どうすればよいかと？といった対策を考える原因指向の考えを持つべきであると言われました。また事例も取り入れグループ討議も行い、最後に先生は、リスクマネジメントは自分自身を事故から守るために一生懸命学んでいただきたい、施設全体でも取り組んでいただきたいと言われ、ハードを変えても意識を変えていくことが大切であるといわれました。閉会にあたり、当協議会火野坂副会長の挨拶で第2回スタッフセミナーは終了しました。

(記 広報部 野口 秀康)



開会のあいさつ  
(蓮池年民 当協議会会長)



▲辻いちえ氏  
(朝倉保健福祉環境事務所高齢者・児童家庭係長)



▲講師 原田 英夫氏  
(株)アステムCS開発部コンサルティング室主任)

## 事業報告

### 設立記念イベント「介護フェスタ'03in夜須」

去る、11月1日(土)午後2時30分より夜須町コスモスプラザにおいて甘木朝倉介護保険事業者協議会設立3周年記念事業「介護フェスタ'03in夜須」を行いました。総合司会は日迎の園の小川麻由美さんが行い、最初にふれあいホールにて当協議会平田副会長より開会の挨拶があり、来賓といたしまして夜須町町長山内秋夫様にご出席をいただき、ご挨拶を頂戴しました。第一部は楽しかステージと題し、最初にAMI・ODエクササイズの皆さんのヒップポップダンスを3曲、次に養護老人ホーム朝倉苑の踊りクラブ皆さんの「北のいい女」、最後は虹の会の詩の朗読を行いました。会場は200名ほどの参加者があり、皆さんの演技に見入っていました。ホール外のエントランスでは、高齢者の作品展を行い、また、介護食の試食、福祉用具の展示、介護相談等を行い、沢山の方に見学いただきました。

第二部は当協議会火野坂副会長のご紹介により元X-JapanのTOSHIさんの「癒しのコンサート～愛の詩をうたいたい～」を行いました。約300名の方が来場され、皆さん癒されたと好評でした。

今年度の設立イベントに協力していただいた夜須町の皆さん、事業所の皆さん ありがとうございました。

(記 広報部 野口秀康)



▲司会/小川 麻由美さん  
日迎の園ケアマネージャー



▲開会のあいさつ  
(平田 克實 当協議会副会長)



▲来賓あいさつ  
(夜須町 山内秋夫町長)



▲AMI・ODエクササイズの皆さんのヒップポップダンス



▲虹の会の皆様方による詩の朗読



▲高齢者の作品展



▲介護食の試食コーナー



▲朝倉苑の皆様方の踊り(北のいい女)



▲Toshi 癒しのコンサート



## 居宅介護支援部会

部会長 組坂 敏和

### —第14回部会内容—

今回の部会は「適切な給付管理と業務内容について」をテーマとし、グループ討議及び発表、また締めくくりとして全体討議を行いました。

1. グループ討議 3グループに別れて実施しました。
2. 各グループ発表
  - 1班：モニタリングの書式がない。事業者によってまちまちである。  
福祉用具貸与のみの場合の担当者会議はどのように開催すればよいのか。
  - 2班：要支援の方など状態に変化のない方の記録はどのようにすればよいのか。  
担当者会議の調整が困難。  
家族と本人がいる時間帯、時に夜間の訪問は難しい。  
主治医への情報提供票を活用している。
  - 3班：上記意見と重複。
3. 全体討議 今後の研修架台としてモニタリングの勉強会（様式・内容等）をして欲しいとの要望。  
甘木朝倉のケアマネジャーの質の向上を目指し、事業所の枠にこだわらず情報を交換し、皆でレベルアップを目指していきたいと思えます。

第14回開催 H15.11.17 23事業所中18事業所、28名が参加

## 通所リハビリ部会

部会長 森 昌広

### —第10回部会報告—

1. 報告事項  
スタッフセミナー、設立記念事業について
2. 利用状況  
入浴利用者 9割 1施設は5割  
平均介護度 1・2が多い
3. 個別リハについて  
加算実施 3施設  
職員配置について
4. 記録について  
連絡帳の活用  
記録の時間がとりにくい
5. ケアプランについて  
実施記録の仕方  
カンファレンスの時間がとりにくい  
居宅との担当者会議が出来ない
6. 次年度以降の部会長順番
  1. アスピア
  2. 杷木クリニック
  3. デイケアセンターうらうめ
  4. 城山荘
  5. 三愛デイケアセンター

第10回開催 H15.9.19 7事業所中、6事業所参加

## 介護療養施設部会

部会長 宮崎 朝子

### —第24回部会内容—

1. 介護療養型医療施設サービス約款について
  - ・重要書類と約款を一部ずつ渡し契約書を一部施設の控えとしている。
  - ・約款に基づいて説明し、同意書を控えている。
2. ショートステイの受け入れについて
  - ・初めて利用される方には、家族やケアマネ、訪問看護師に来院して頂き面接し情報収集を行っている。
  - ・入所日には担当看護師が迎えに行く。
3. その他
  - ・香月病院、介護病棟12床から20床に変更
  - ・稲永病院、介護療養部会退会される。

### —第25回部会内容—

1. ショートステイ利用者についての情報交換。
  - ・気切、胃瘻増設、留置カテーテルの方も利用される。
  - ・連休や週末に利用される方が増えている。
  - ・介護病室の空床状況に合わせて利用されるが急を要する場合もある。ショートステイ用に1床空けている、仮ベットを利用を拘る、などの施設もある。
2. その他
  - ・ケアカンファやリハビリカンファを定期的に計画して行っている。
  - ・入院患者が一人暮らしや身寄りの無い方もあり、福祉との連携も必要となってきた。

### —第26回部会内容—

1. ショートステイについて
  - ・利用者受け入れの為に常に空床を余儀なくされる為介護ベット数とは別枠にして欲しい。
2. 感染症予防対策・リスクマネジメントについて

第24回開催 H15.9.15 全3事業所、6名が参加  
第25回開催 H15.10.16 全3事業所、6名が参加  
第26回開催 H15.11.20 全3事業所、6名が参加

## 介護老人保健施設部会

部会長 熊谷 真由美

### —第13回部会報告—

〈支援相談部門〉

#### 議題内容

1. 入所・退所事例紹介  
アルファ俊聖  
デイケアセンターうらうめ
  2. 居宅介護支援事業者との連携  
通所利用までの流れ
  3. 胃ろう、経管栄養者の受け入れについて
    - ・現段階では、受け入れていない
    - ・他の医療行為との兼ね合いで、3名までは受け入れる
- 第13回開催 H15.10.17 全6事業所、7名参加

## 訪問看護部会

部会長 空閑 優子

—第20回部会内容—

1. 協議会設立記念事業プロジェクトの準備段階報告、連絡  
ポスター作成から配布活動報告、イベント内容説明など
2. 三愛訪問看護ステーションの閉鎖にて本会を退会  
今後は医師会訪問看護ステーションに、太刀洗訪問看護ステーション、甘木中央病院訪問看護の3事業所となる。

第20回開催 H15.10.7

全4事業所、4名が参加

## 訪問リハビリ部会

部会長 野口 秀康

—第12回部会報告—

1. 連絡事項  
設立記念イベントの反省会の報告
2. その他  
来年度部会長の件  
来年度は甘木中央病院の古賀大亮氏へ願います。
3. 情報交換会  
訪問リハビリの利用状況の報告

第12回開催 H15.12.9

全4事業所、7名が参加

## 通所リハビリ・通所介護合同研修会

通所リハビリ部会長 森 昌広  
通所介護部会長 阿波 範良



11月19日(水)午後6時30分より、甘木朝倉市町村会館において、通所リハビリと通所介護の合同部会が開催されました。通所リハビリ7事業所中5事業所10名、通所介護12事業所中9事業所19名の参加で意見交換が行なわれました。

まず11月1日に夜須町コスモプラザにて開催された、協議会設立3周年記念公開事業「介護フェスタ'03in夜須」について、川波部会長より高齢者作品展示には通所事業者を中心とした16事業所からの協力をいただき、高齢者の方々の見事な作品が会場を賑わせてくれた事の報告がありました。

事業所紹介では各施設の定員数と現在の利用状況及び施設の特徴の説明がありました。家庭的な雰囲気の中で食事や入浴に工夫を凝らしている通所介護施設、リハビリやレクリエーションの充実に力を入れている通所リハビリ施設と、それぞれに特徴を生かしたサービスを提供している様子がうかがえました。

次に、10月17日大野城まどかぴあにて行なわれた「通所リハ・通所介護集団指導」の中から討議を行いました。(例年ならば年に1回の指導であるところ、実地指導において不適正な請求により事業所の取り消しや、算定方法や運営基準についての理解不足、算定誤りが多く見受けられた事により、再度、周知を図る

為に急遽、指導が行なわれたとの事です。)不適正事例を受けて以下のような意見が聞かれました。

- ・1割負担以外の費用の徴収については、具体的などのような項目を提示しているか
- ・介護計画による提供時間と実際の所要時間に相違が生じた場合の算定についての意見
- ・入浴ができない利用者で洗髪・清拭のみ対応等介護に手間がかかる人に対して入浴加算が算定できない事例

など、基準と実態との不合理さについて活発な意見が出されました。

また、ケアプラン交付の実施・評価方法をどのように行なっているか。個人記録の必要性など、限られた時間とスタッフ体制の中、サービス提供以外に要する時間の確保がむずかしい状況があげられました。今回の様な意見交換・交流を通して介護保険の下、在宅介護の促進、利用者や家族の立場に立ったサービスの提供作りを目指した研修会であって欲しいと思います。

(記 広報部 熊谷 真由美)





・温泉たまごの簡単な作り方

鍋に生卵を入れ、その上から熱湯を卵がかぶる程度入れ、ふたをして8~10分程おく。

・ひとり分のおかゆの作り方

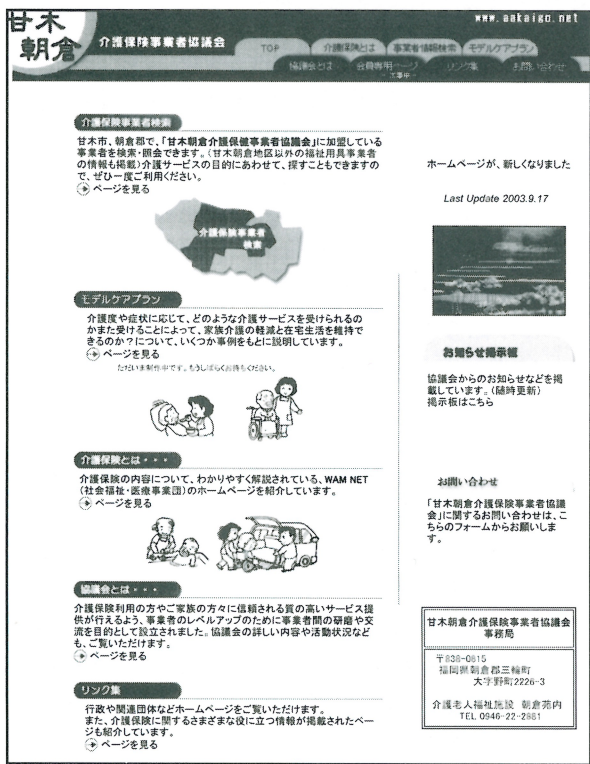
炊飯器の真ん中に耐熱性の容器をおき、米と水(1:5の割合)を入れて、炊く。  
\* 家族の分と一緒に炊けて、便利。

・ご飯の炊き方

(軽量カップがない場合)

洗った米と同量の水加減で炊く  
\* キャンプ等、野外において便利

## ホームページをご活用ください。

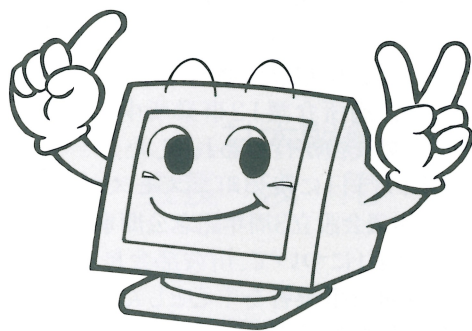


ホームページが新しくなり、事業者検索が使いやすくなりました。事業所番号や事業所地図をプリントアウトして利用者や事業者に渡すこともできますので、みなさん是非ご活用ください。

アドレスは

<http://www.aakaigo.net/>

です。ぜひ、一度のぞいて見ませんか？



## 編集後記

新年を迎え、皆様益々ご多忙のことと存じますが、いかがお過ごしでしょうか。会報12号はいかがでしたか？ 昨年は、第2回スタッフセミナーが介護支援専門員地域圏別現任研修としての取扱いを受け、いよいよ私共の協議会も行政からの認知が高まってきたのではないかと思います。

研修会等も増えてきましたから、今年度は介護支援専門員の皆様方の声も掲載していきたいと思っています。今後も会報についてご意見ご要望等がございましたら遠慮なく広報部までお寄せください。

(秀)

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局  
〒838-0815 福岡県朝倉郡三輪町大字野町2226-3  
介護老人福祉施設 朝倉苑内  
TEL (0946)22-2881 FAX (0946)24-8322

編集 / 発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部  
〒838-0823 福岡県朝倉郡三輪町大字山隈501番地  
介護老人保健施設 城山荘内  
TEL (0946)22-1051 FAX (0946)22-1318  
印刷 / 井上総合印刷株式会社